ニガキ

生薬の性状の項を次のように改める.

生薬の性状　本品は淡黄色の切片，削片又は短い木片で，横切面には明らかな年輪及び放射状の細かい線がある．質は密である．

本品はにおいがなく，味は極めて苦く，残留性である．

本品の切片を鏡検〈*5.01*〉するとき，放射組織は横切面では幅 1～5 細胞列，縦断面では高さ 5～50 細胞層からなる．道管は春材では径約 150μm に達するが，秋材ではその 1／5 にすぎない．いずれも単独又は数個連接して木部柔組織中に存在する．木部繊維は著しく厚壁化している．放射組織及び木部柔細胞にはシュウ酸カルシウムの集晶又はでんぷん粒を含む．道管にはしばしば鮮黄色又は赤褐色の樹脂状物質を含む．